

# 家を身にまとう

建築がジュエリーになる時

スーザン・ピーチ (SCHMUCK2 創設者) およびガビ・シリッグ (ベルリン芸術大学空間および展覧会デザイン講座教授)の2名のドイツ人アーティストによるワークショップ。

Tamagawa Art Gallery Projects 2023-2024 No.7

データや情報によって生活が支配される今、私たちは物理的空間との関係を取り戻す必要に迫られています。このワークショップでは、具体的な建築物を考察することで、単なる機能という枠を超え、私たちの内面と外界に安定をもたらす美や装飾を感じさせる構造や形態に対する認識を深めていきます。それぞれが独自のやり方で身体と関わり合うジュエリーと建築というふたつの芸術形態をめぐる新たな拡張されたイマジネーションは、違う素材や次元へと変換されることで、広がりを見せることでしょうか。その目的は、新たな認識を通じ、個性や自己イメージに対して建築とジュエリーの双方がもちうる可能性を体験し、理解することにあります。大きなものごとく小さなものである建築とジュエリーが持つスケールは、それぞれが独自の性質のもと、社会におけるやり取りやコミュニケーションの中で交わされる様々なレベルの行動様式をつかさどっています。

会場 STREAM Hall2019 200Bスクエア 300D

\*ワークショッププロセスと作品展示は10月4日(水) - 12日(木)19:00まで

スケジュール	2023年10月4日(水)	17:00 - 18:00	ワークショップの紹介およびレクチャー
	5日(木)	10:00 - 17:00	ワークショップ
	6日(金)	10:00 - 16:00	作品の完成およびプレゼンテーションの準備
	6日(金)	17:00 - 19:00	プレゼンテーションおよびアーティストトーク (アカデミックスクエア125)

# WEARABLE HOUSES

How Jewellery  
from Architecture  
Grows

【TAGとは】 玉川大学芸術学部の教員と学生が中心となって企画・運営する、主として、美術分野に関するさまざまなプロジェクトの総称です。(TAG = Tamagawa Art Gallery Projects)

【企画・運営】 玉川大学芸術学部 ([https://tamagawa.ac.jp/college\\_of\\_arts/](https://tamagawa.ac.jp/college_of_arts/))

【助成】 2023年度芸術学部共同研究「媒体としての空間：大学内オルタナティブ・スペースの運営による、実験的な芸術教育に関する継続研究」

【SNS】 Twitter <https://www.twitter.com/tagprojects> | Facebook <https://www.facebook.com/TAGprojects> | Instagram <https://www.instagram.com/tagprojects>

【お問い合わせ】 玉川大学芸術学部アート・デザイン学科 TEL 042-739-8119 | MAIL [ad.art@art.tamagawa.ac.jp](mailto:ad.art@art.tamagawa.ac.jp) (担当：工藤)

Design by ca o studio